

令和2年度4月-3月 政務活動費支出明細書

会派又は議員名 たしかわ自民党・安進会

| 科目  | 支出日      | 内容  | 金額      |  |
|-----|----------|---|---------|--|
| 研修費 | R2.8.3   | 地域科学研究会主催セミナー参加(「キャッシュレス決済の行政施策化」)                          | 26,480  |  |
|     | R2.8.6   | 地方議会総合研究所主催セミナー参加(「地域における公共交通のあり方」)                         | 26,140  |  |
|     | R2.8.17  | 地方議員研究会主催セミナー参加(「アフターコロナ関連質問特別講座」)                          | 62,000  |  |
|     | R2.10.26 | 日本経営協会主催セミナー参加(「[オンライン講座]地方議員のための自治体における危機管理・リスクマネジメントの要点」) | 22,000  |  |
|     | R2.11.7  | 地方議員研究会主催セミナー参加(「国の動きと制度の基礎的解説講義(2日目のみ)」)                   | 60,540  |  |
|     | R2.1.25  | 地方議会総合研究所主催セミナー参加(「障がい福祉の動向とこれから地方自治体に必要な取り組みを考える」)         | 25,000  |  |
|     | R3.1.28  | 地域科学研究会主催セミナー参加(「ポストコロナ時代の図書館サービスの開発」)                      | 25,220  |  |
|     | R3.1.26  | 地方議員研究会主催セミナー参加(「withコロナで試される地方議会議員への特別講座」)                 | 30,220  |  |
|     | R3.1.29  | 地方議会総合研究所主催セミナー参加(「コロナ時代の攻める公共施設マネジメント」)                    | 25,220  |  |
|     | R3.2.15  | 地方議員研究会主催セミナー参加(「決算カードでわかる我が街の財政研修」)                        | 60,440  |  |
|     | R3.3.12  | 地方議員研究会主催セミナー参加(「withコロナ特別講座」)                              | 60,440  |  |
|     | R3.3.29  | 地方議会総合研究所主催セミナー参加(「上下水道事業の課題と処方箋」)                          | 25,220  |  |
|     |          |   |         |  |
|     |          |   |         |  |
|     |          | 合計  | 449,520 |  |

活動記録簿

会派・議員名 たちかわ自民党・安進会

|               |  |   |       |         |
|---------------|--|---|-------|---------|
| 年 月 日         | 令和2年8月3日   |   |       |         |
| 場 所           | 厚生会館会議室  |   |       |         |
| 相 手 方         | 地域科学研究会  |   |       |         |
| 参加者氏名         | 江口元気   |   |       |         |
| 目的・内容<br>結果 等 | <p>地域科学研究会主催セミナー、「キャッシュレス決済の行政施策化」に参加した。キャッシュレス決済とは、VISAやマスターなどのクレジットカード、デビットカード、SuicaやPASMOなどの電子マネー、QRコードなどのモバイルウォレットなどがある。主要先進国では40～60%の決済比率になっているが、日本は約20%という水準になっている。不特定多数の接触する現金と比べ、キャッシュレス決済はコロナ時代でも効果があると言われている。今回は武村敏彦城西大教授から学術的研究的なキャッシュレスの動向、高本大樹経産相キャッシュレス推進室係長から国の方針、日立市の鈴木裕子課長補佐、山澤浩幸課長からそれぞれの自治体の取り組みについて説明をいただいた。サービスの改善と決済手段の多様化など参考にしていきたい。</p> |   |       |         |
| 活動に要した<br>経 費 | 科 目<br>(該当科目に○を<br>付けてください)  | 調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費 |       |         |
|               | 交 行 先  | 利用交通機関                                  | 利用区間  | 金 額     |
|               | 通 池袋駅  | J R 線                                   | 立川⇄麴町 | 1,480円  |
|               | 費  |   |       |         |
|               | 参加費<br>(会費・負担金等)   | 内訳：受講料                                  |       | 25,000円 |
|               | そ の 他  | 内訳：                                     |       | 円       |
|               |  | 内訳：                                     |       | 円       |
| 内訳：           |  | 円                                       |       |         |
| 合 計           |  |   |       | 26,480円 |

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

活動記録簿

会派・議員名 たちかわ自民党・安進会

|               |  |   |         |         |
|---------------|--|---|---------|---------|
| 年 月 日         | 令和2年8月6日   |   |         |         |
| 場 所           | アットビジネスセンター池袋駅前別館  |   |         |         |
| 相 手 方         | 地方議会総合研究所  |   |         |         |
| 参加者氏名         | 江口元気   |   |         |         |
| 目的・内容<br>結果 等 | 地方議会総合研究所主催セミナー、「地域における公共交通の在り方」に参加した。講師は中央大学教授の原田昇氏。今回のセミナーでは、各施策などの説明のみに留まらず、なぜ人間は移動するのか、交通行動の決定要因など根源的なところからスタートし、原田講師の持論である公共交通を利用した方が健康的な生活が送れるというところまでを解説していただいた。確公共交通は環境負荷の削減にもなるし、車移動よりも歩くことにもつながり健康にも寄与する。人とのコミュニケーションの機会も増える効果も期待できる。今後の参考にしていきたい。 |   |         |         |
| 活動に要した<br>経 費 | 科 目<br>(該当科目に○を<br>付けてください)  | 調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費 |         |         |
|               | 交 行 先  | 利用交通機関                                  | 利用区間    | 金 額     |
|               | 通 池袋駅  | J R 線                                   | 立川⇄池袋   | 1,140円  |
|               | 費  |   |         |         |
|               | 参加費<br>(会費・負担金等)   | 内訳：受講料                                  |         | 25,000円 |
|               | そ の 他  | 内訳：                                     |         | 円       |
|               |  | 内訳：                                     |         | 円       |
| 内訳：           |  | 円                                       |         |         |
| 合 計           |  |   | 26,140円 |         |

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

領 収 証

No. 863

たちかわ自民党・安進会 殿

|     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 金 額 | 7 | 2 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

但し 8/3 ファッションレスと決着の行政的施策化 に対し 謝意の意として  
上記金額正に領収いたしました。

2020年 8月 3日

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-3-10  
 TEL03 (3234) 1231 FAX03(3234)4093 ライオンズ平河町  
 株式会社 地域 総合 研究会  
 代表取締役 藤原 富美雄

領収証

No. \_\_\_\_\_

たちかわ自民党・安進会 様

2020年 8月 6日

金額 **¥25,000**

|      |  |
|------|--|
| 内    |  |
| 消費税等 |  |
| 現金   |  |
|      |  |
|      |  |

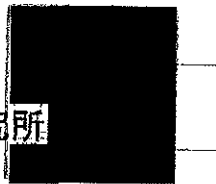
但 8月6日セミナー受講料として  
上記正に領収いたしました



〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

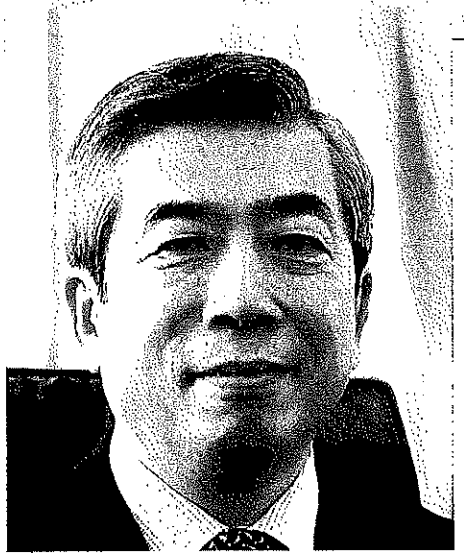
株式会社 地方議会総合研究所



# 地域における公共交通のあり方

考える基礎と今日的課題

in 東京



講師 原田 昇  
【中央大学教授】

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、工学博士。計量計画研究所研究員を経て、1985年より東京大学工学部助教、同助教授、同准教授を経て1999年より新領域創成科学研究科教授、2005年に工学系研究科教授に異動、2020年より中央大学理工学部教授。専門は都市交通計画、交通まちづくり、交通行動分析。豊田都市交通研究所所長、日本交通政策研究会代表理事。国の審議会委員、学会の理事を歴任。著書に、「都市交通計画(第3版)」技報堂出版、「交通まちづくり～地方都市からの挑戦」鹿島出版会、「交通まちづくり～世界の都市と日本の都市に学ぶ」交通工学研究会、「やさしい非承継分析」交通工学研究会など多数。お役立ちハンドブック等多数。

8/6 (木) 10:00～17:00 in東京

## 1. 交通政策を考える基礎

- (1) 交通行動を理解する
- (2) 交通システム分析の枠組みを理解する

## 2. 社会的に必要な公共交通と整備の仕組み

- (1) 持続可能な社会のために必要な理由とは
- (2) わが国における整備の仕組み  
～特殊な事情と最近の動向～

## 3. これからの都市と人の交通

- (1) 「交通まちづくり」とは
- (2) 「居場所」と「新しい交通サービス」

補論; 公共交通のある暮らしとは

- ①共生政策の開発・推進 (7月30日) ⑤立地適正化計画の成果と実効性の確保 (7月16日)
- ②キャッシュレス決済の行政施策化 (8月3日) ⑥広域気象災害一複合・連続・広域化への備え (7月28日)
- ③自治体情報セキュリティはどうあるべきか (7月20日) ⑦進展する空き家政策 (7月29日)
- ④DX時代の働き方改革—テレワークの導入・活用 (7月21日) ⑧都市農地・農業新制度を活かした都市政策 (8月上旬)

研修会①: 政策情報シリーズ255 2040年、行政サービス創造に向けて—

# 共生政策の開発・推進—条例の制定と事業の活用

|                     |         |         |
|---------------------|---------|---------|
| 7月30日(木)10:00~17:00 |         |         |
| 副都庁前・会議室(東京都千代田区)   |         |         |
| 参加費(1名)             | 当日参加    | メディア参加  |
| 議員・行政               | 25,000円 | 22,000円 |
| 一般                  | 35,000円 | 32,000円 |

～認知症・養育費・ケアラー支援・性的マイノリティ施策—策定・事業化プロセスと検証～ ※メディア参加には今井照氏(公財)地方自治総合研究所 永田龍太郎氏(渋谷区)のご講演は収録されません。

|            |   |   |                              |
|------------|---|---|------------------------------|
| 10:00<br>} | 共生社会の考え方と自治体の政策開発<br>1. 共生社会とは～社会保障政策の転換点<br>2. 共生社会の担い手と自治体の役割<br>～「公共私」の再構築 | 3. 自治体の政策過程と市民参加<br>～3つの政策循環構造と条例化の意義                   | (公財)地方自治総合研究所主任研究員<br>今井 照 氏 |
| 11:10<br>} | [和歌山・御坊市] 「認知症の人とともに築く総活躍のまち条例」の制定プロセス<br>～「認知症の人」参加の条例づくり、「認知症の人の役割」の規定～     | 御坊市市民福祉部介護福祉課・地域支援係長 谷口 泰之 氏                            |                              |
| 11:20<br>} | 1. はじめに<br>①御坊市の概況 ②でぼう総活躍のまちづくりプロジェクト  | 3. 条例に「認知症の人の役割」を明記<br>①認知症の人の発信 ②認知症の人の視点から「バリアフリー」の実現 |                              |
| 12:30<br>} | 2. 認知症の人が参加した条例づくり<br>①条例づくりワーキングチーム結成 ②認知症の人たちの言葉                            | 4. 誰もが活躍できる社会をめざして                                      | 【質疑応答】                       |
| 13:25<br>} | [イントラスト] 自治体との連携による養育費不払い対策—仕組みと現状、今後の課題                                      | (株)イントラスト第三営業部<br>勝山 公裕 氏                               |                              |
| 14:30<br>} | 1. 養育費の現状<br>2. 当社の取り組み～養育費保証～<br>3. 明石市の事例と現状                                | 4. その他の自治体の事例<br>5. 今後の課題<br>～継続的な官民連携を目指して～            | 【質疑応答】                       |
| 14:40<br>} | [埼玉県] 全国初、埼玉県ケアラー支援条例の制定  | 埼玉県議会議員<br>吉良 英敏 氏                                      |                              |
| 15:45<br>} | 1. 地方自治体における議員提案条例について<br>2. 条例づくりについて  | 4. 埼玉県ケアラー支援条例—制定のねらいとプロセス<br>5. 条例の効果と制定後の取り組みについて     | 【質疑応答】                       |
| 15:55<br>} | [渋谷区] 渋谷区が推進する性的マイノリティ施策  | 渋谷区総務部男女平等・ダイバーシティ推進担当課長<br>永田 龍太郎 氏                    |                              |
| 17:00<br>} | 1. 渋谷区基本構想が掲げるダイバーシティ&インクルージョン<br>2. 性の多様性(LGBT、性的マイノリティ)について                 | 3. 性的マイノリティが直面する課題<br>4. 渋谷区の取組みと、直面する課題                | 【質疑応答】                       |

研修会②: 政策情報シリーズ256 自治体版デジタルガバメント構築に向けて—

# キャッシュレス決済の行政施策化—その手法と効果

|                    |         |         |
|--------------------|---------|---------|
| 8月3日(月)10:00~16:10 |         |         |
| 厚生会館会議室(東京都千代田区)   |         |         |
| 参加費(1名)            | 当日参加    | メディア参加  |
| 議員・行政              | 25,000円 | 22,000円 |
| 一般                 | 35,000円 | 32,000円 |

～決済手段選択と市民意志—サービス改善と納付率向上の効果等の検証～ ※メディア参加には高本大樹氏(経済産業省)、鈴木裕子氏(日立市)のご講演は収録されません。

|            |  |  |        |
|------------|--|--|--------|
| 10:00<br>} | 日本におけるキャッシュレス社会の現状と展望<br>～キャッシュレス決済における消費者の金融行動意識の実証を踏まえて～                   | 城西大学経済学部教授<br>竹村 敏彦 氏  |        |
| 11:10<br>} | 1. キャッシュレスに関する研究動向<br>2. 消費者の金融行動意識<br>3. 今後の展望                              |  | 【質疑応答】 |
| 11:30<br>} | [経済産業省] 自治体におけるキャッシュレス化の推進<br>～モニター自治体における取組みとそのねらい～                         | 経済産業省商務・サービスグループキャッシュレス推進室係長<br>高本 大樹 氏                                  |        |
| 12:40<br>} | 1. 経済産業省におけるキャッシュレス推進政策の概要<br>2. 自治体におけるキャッシュレス決済の導入状況と課題点                   | 3. モニター自治体における取組状況及び今後の展望<br>(1)「キャッシュレス決済導入手順書(初版)」の公表<br>(2)モニター自治体の採択 | 【質疑応答】 |
| 13:40<br>} | [茨城・日立市] 電子マネーによる公金収納システムの導入   | 日立市総務部行政マネジメント課課長補佐<br>鈴木 裕子 氏   |        |
| 14:30<br>} | 1. 導入の目的と背景<br>2. 導入までのSTEP<br>3. 事業の概要<br>～各種証明書交付手数料、観光施設入園料等の支払いに電子マネー決済～ | 4. 導入の効果<br>5. 今後の展望<br>～令和2年9月から、クレジット払いも可能に～                           | 【質疑応答】 |
| 14:40<br>} | [新潟・三条市] マイナンバーカードによる独自サービスとキャッシュレスの取組み<br>～3密解消にも有効なデジタル化を目指して～             | 三条市総務部情報管理課長<br>山澤 浩幸 氏  |        |
| 16:10<br>} | 1. マイナンバーカードによる独自サービス<br>2. キャッシュレスの取組み                                      | 3. 給付金で明確になった電子申請の課題<br>4. 官民データ連携のために～ポストコロナ社会に向けて～                     | 【質疑応答】 |

# 活動記録簿

会派・議員名 たちかわ自民党・安進会

|               |  |                                 |            |         |        |
|---------------|--|---------------------------------|------------|---------|--------|
| 年 月 日         | 令和2年8月17、18日   |                                 |            |         |        |
| 場 所           | TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター   |                                 |            |         |        |
| 相 手 方         | 地方議員研究会  |                                 |            |         |        |
| 参加者氏名         | 江口元気   |                                 |            |         |        |
| 目的・内容<br>結果 等 | <p>地方議員研究会主催セミナー「アフターコロナ関連質問特別講座」に参加した。今回の講師は、医学博士で元寝屋川市議会議長の宮本正一氏。コロナにかかわらず、一般質問全般にわたっての講義であった。質問のための情報の集め方や質問聞き取り時の職員対応、質問本番の取り組み方、質問後にどう動くかなど、実際に議員を経験した人ならではの現場感のある講義だった。法律や計画を踏まえて現場を見る、役所が話を聞くにはどのようなことが必要か、年次計画で見る、感情と論理のバランスなどなど即戦力の講義であった。一般質問など今後の議員活動に生かしていきたい。</p> |                                 |            |         |        |
| 活動に要した<br>経 費 | 科 目<br>(該当科目に○を<br>付けてください)  | 調査研究費 ○研修費・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費 |            |         |        |
|               | 交 通 費  | 行 先                             | 利用交通機関     | 利用区間    |        |
|               | 池袋駅  | JR線                             | 立川⇄東京(2日間) | 2600円   |        |
|               | 参加費<br>(会費・負担金等)   | 内訳：受講料                          |            | 60,000円 |        |
|               | そ の 他  | 内訳：                             |            | 円       |        |
|               | 合 計  |                                 |            |         | 62600円 |

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。  
 ※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

活動記録簿

会派・議員名 たちかわ自民党・安進会

|              |   |   |        |         |     |
|--------------|---|---|--------|---------|-----|
| 年 月 日        | 令和2年10月26日  |   |        |         |     |
| 場 所          | WEB上  |   |        |         |     |
| 相 手 方        | 一般財団法人日本経営研究会   |   |        |         |     |
| 参加者氏名        | 江口元気  |   |        |         |     |
| 目的・内容等<br>結果 | <p>日本経営協会主催セミナー「自治体における危機管理・リスクマネジメントの要点」に出席した。今回のセミナーはオンラインでの開催で、講師は森総合研究所代表の森健氏。</p> <p>主に内部統制制度の解説を頂いた。平成31年度の総務省から「地方自治体における内部統制制度の導入・実施のガイドライン」が出されたが、まだまだ基礎自治体には浸透できていない。このガイドラインによると、内部統制は4つの目的と6つの内容からなっている。4つの目的は①業務の効率的かつ効果的な遂行、②財務報告等の信頼性の確保、③業務に関わる法令等の遵守、④資産の保全です。6つの内容は、①統制環境、②リスク評価と対応、③統制活動、④情報と伝達、⑤モニタリング（監視活動）、⑥ICT（情報通信技術）への対応。この中で、一番大事なのは、目的の③業務に関わる法令等の遵守と、内容の②リスク評価と対応のところである。③はコンプライアンスと言われるが、日本の法律の場合、社会の変化→象徴的な事案の発生→新法制定となるので、法律事態が世の中から遅れている。つまり法律「だけ」守っていたのでは、社会の変化の対応に遅れが生じるということである。</p> |   |        |         |     |
| 活動に要した経費     | 科 目<br>(該当科目に○を付けてください)   | 調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費 |        |         |     |
|              | 交 通 費   | 行 先                                     | 利用交通機関 | 利用区間    | 金 額 |
|              |   |   |        |         | 円   |
|              |   |   |        |         | 円   |
|              |   |   |        |         | 円   |
|              |   |   |        | 円       |     |
|              | 参加費<br>(会費・負担金等)  | 内訳：受講料                                  |        | 22,000円 |     |
|              | そ の 他   | 内訳：                                     |        | 円       |     |
| 内訳：          |   | 円                                       |        |         |     |
| 合 計          |   |   |        | 22,000円 |     |

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。



# 領 収 証

大阪府知事 市民党・安進会 様  
江口元気

2020年8月17日

★ **¥60,000**

(1) 8/17.18 「アフターコロナ関連質問特別講座」  
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297



|  |                   |                   |                  |                  |                  |
|--|-------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|
| 日本銀行<br>支店<br>〒100-0001<br>東京都千代田区千代田                          | 振替<br>金額<br>22000 | 振替<br>金額<br>22000 | 振替<br>金額<br>0000 | 振替<br>金額<br>0000 | 振替<br>金額<br>0000 |
| 一般社団法人<br>日本経営協会中部本部   |                   |                   |                  |                  |                  |
| 立川市議会議員<br>江口 元気 様   |                   |                   |                  |                  |                  |
| 日 附 印<br>02-10-26<br>ゆうちょ<br>銀行<br>立川店<br>(01056)<br>N94240023 |                   |                   |                  |                  |                  |

記載事項を訂正した場合、その箇所を訂正印を押ししてください。

この受領証は、大切に保管してください。

No. 002408

# 領 収 書

大阪府知事 市民党・安進会 様

¥ 22,000

上記 金額正に領収いたしました。

但し [オンライン講座] 地方議員のための自治体における  
危機管理、リスクマネジメントの要点、講座参加料

令和 2 年 10 月 26 日

一般社団法人 日本経営協会

印紙税法第五条  
の非課税文書に  
該当するため収入  
印紙は貼付せず

|      |  |
|------|--|
| 入金内訳 |  |
| 現金   |  |
| 小切手  |  |
| 振込手形 |  |

担当者

- 本部事務局 〒151-8538 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8 ☎(03)3403-1336(代)
- 関西本部 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル ☎(06)6443-6961(代)
- 中部本部 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル ☎(052)957-4726(代)
- 九州本部 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-6-16 西鉄博多駅前ビル ☎(092)431-3365(代)
- 北海道本部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1 札幌北三条ビル ☎(011)241-7500(代)

議員20年の経験から

地方議員研究会

in大阪 7月6日(月) in東京 8月17日(月)

10:00~12:30

### 質問のための情報の集め方

- ・国、都道府県からの効果的な入手方法
- ・役所が話を聞く情報の要件
- ・他の議員と違う独自の情報収集策
- ・法律と計画を踏まえ現場を見る

14:00~16:30

### 質問聞き取り時の職員対応マニュアル

- ・答弁調整はこう使え
- ・職員との上手な付き合い方
- ・質問の趣旨をきちんと伝えよう
- ・これからの地方議員に必要な能力

in大阪 7月7日(火) in東京 8月18日(火)

10:00~12:30

### 質問本番の取り組み方

- ・質問の効果と議員そもそも論
- ・議場でのルールで困ったときはどうすればいいか?
- ・まともな答弁が返ってこないときどうするか?
- ・感情と論理のバランスを意識した原稿を

14:00~16:30

政策実現のために

### 質問後に動く議員活動のしかた

- ・質問と答弁を年次計画で考える
- ・議会の権限をもつ一度見直そう
- ・調査研究します。検討しますの追いかけ方。
- ・質問だけが議員活動ではないその理由

医学博士  
(公衆衛生)  
が教える

アフターコロナ  
関連質問特別研修

講師ご紹介

みやもと しょういち

宮本 正一

1967年生まれ ポストン・ウェントワース工科大学を卒業後、神戸大学経営大学院でMBA(経営学修士)、大阪市立大学大学院医学研究科で医学博士号(公衆衛生学)を取得。現在、日本公共経営研究所代表。

政治略歴

平成7年に27歳で市会議員に無所属で初当選し、その後5期20年の議員在任中、第54代寝屋川市議会議長及び大阪府知事選挙をはじめ11の選挙対策本部で事務局長を務める。

主な著書

「サービス産業経営論(第7章自治体の経営)」他



ソーシャルディスタンス対応につき 定員25名様、先着順にて開催いたします。

# 活動記録簿

会派・議員名 たちかわ自民党・安進会

|               |   |   |        |         |
|---------------|---|---|--------|---------|
| 年 月 日         | 令和2年11月7日   |   |        |         |
| 場 所           | 新大阪丸ビル別館  |   |        |         |
| 相 手 方         | 地方議員研究会   |   |        |         |
| 参加者氏名         | 江口元気  |   |        |         |
| 目的・内容<br>結果 等 | <p>地方議員研究会主催セミナー「国の動きと制度の基礎的解説講座」の2日目のみを受講した。今回のテーマは、午前が「教育予算の基礎」、午後が「子どもの貧困問題」で、講師は甲南大学経済学部の足立泰美教授。</p> <p>教育予算については、対GDP比で、日本はOECD中最下位の状況、この中でも特に、就学前の教育についての公的予算が少ない状況である。幼保無償化で若干改善されたが、まだまだ余地はあると思料。特に幼稚園は、制度的にがんじがらめで、ここは市だけで何とかできる範囲を越えている。国や都にも要望をかけていきたい。</p> <p>また、子どもの貧困についても、我が国に絶対的貧困は少ないと言えるが、相対的貧困(社会の中で生活するに当たり前の行為ができない状態)は多くある。一つの目安がスマホを持ってないということ、特に子どもについては、親の収入で進路が決まってしまう事態を限りなく避けていきたいものである。各種指標や奨学金などの制度、先進事例などを学んだ。</p> |   |        |         |
| 活動に要した<br>経 費 | 科 目<br>(該当科目に○を<br>付けてください)   | 調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費 |        |         |
|               | 交 行 先   | 利用交通機関                                  | 利用区間   | 金 額     |
|               | 通 池袋駅   | JR線、新幹線                                 | 立川⇄新大阪 | 30,540円 |
|               | 費   |   |        |         |
|               | 参加費<br>(会費・負担金等)  | 内訳：受講料                                  |        | 30,000円 |
|               | そ の 他   | 内訳：                                     |        | 円       |
|               |   | 内訳：                                     |        | 円       |
| 合 計           |   |   |        | 60,540円 |

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

領 収 書

Receipt  
領収年月日  
金額

2020.11.-7  
¥15,270 (消費税等込み)

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(60125 2枚)  
東海旅客鉄道株式会社  
新大阪駅  
新大阪駅MV824発行 00126-02

印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

領収書等貼付用紙

領 収 証

たちかわ自民党・安進会 様 2020年11月7日

★ ¥30,000

11/7 10:00~「教育予算の基礎」

11/7 14:00~「子どもの貧困問題」

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297

東日本旅客鉄道株式会社

領 収 証

2020年11月 7日

たちかわ自民党・安進会 様

金15,270円

ただし、乗車券類代  
として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納  
付につき波谷  
税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社  
立川331 No.000012

国の動きと制度の  
基礎的解説講座

in熊本 in大阪

9月25日(金)

11月6日(金)

10:00~12:30

地方財政 歳入

- ・地方交付税のしくみ
- ・臨時財政対策債
- ・経常収支比率~特定財源、一般財源

14:00~16:30

地方財政 歳出

- ・国の予算を見て3月議会に臨む
- ・単独事業と補助事業
- ・社会保障費と自治体財政
- ・公共施設更新費用の問題点
- ・公債費の考え方~プライマリーバランス

in熊本 in大阪

9月26日(土)

11月7日(土)

10:00~12:30

教育予算の基礎

- ・都道府県と市町村の役割
- ・ICT教育について
- ・少人数教育と自治体財政
- ・教育無償化と取り組みについて

14:00~16:30

子どもの貧困問題

- ・地方自治体での子どもの貧困対策
- ・子どもの貧困対策に関する大綱の解説
- ・子どもの貧困に関する指標



講師  
ご紹介

あだち よしみ

足立 泰美

甲南大学経済学部 准教授  
博士(医学)  
博士(国際公共政策)

2010年大阪大学大学院国際公共政策研究科修士課程修了、2014年大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学博士課程修了。「今後の神戸市の人口動態に関する有識者会議」委員、「今後神戸市の子育て施策に関する有識者会議」委員、「神戸市国民健康保険運営協議会専門部会」委員、「大津市行政改革推進」委員、「吹田市総合計画審議会」委員、「豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」副会長、「地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会」副委員長、「吹田市国民健康保険運営協議会」公益代表委員、「全国保険協会兵庫支部健康づくり推進協議会」委員など

『保健・医療・介護における財源と給付の経済学』  
著書 (大阪大学出版社、2016)  
『税と社会保障負担の経済分析』  
(日本経済評論社、2015)

ソーシャルディスタンス対応につき 定員25名様、先着順にて開催いたします。

活動記録簿

会派・議員名 たちかわ自民党・安進会

|               |   |   |      |         |
|---------------|---|---|------|---------|
| 年 月 日         | 令和3年1月25日   |   |      |         |
| 場 所           | ZOOM  |   |      |         |
| 相 手 方         | 地方議会総合研究所   |   |      |         |
| 参加者氏名         | 江口元気  |   |      |         |
| 目的・内容<br>結果 等 | 地方議会総合研究所主催セミナー、「障がい福祉の動向とこれから地方自治体に必要な取り組みを考える」に参加した。講師筑波大学教授の小澤温氏。今回のセミナーでは、障害権利条約、障害者基本法、障害差別解消法などの要点を押えると共に、第6期障害福祉計画への展望・課題、障害児支援施策、障害者の高齢化、相談支援体制の構築などの課題について学んだ。質問などに活用すると共に、今後の参考にしていきたい。 |   |      |         |
| 活動に要した<br>経 費 | 科 目<br>(該当科目に○を<br>付けてください)   | 調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費 |      |         |
|               | 交 行 先   | 利用交通機関                                  | 利用区間 | 金 額     |
|               | 通   |   |      |         |
|               | 費   |   |      |         |
|               | 参加費<br>(会費・負担金等)  | 内訳：受講料                                  |      | 25,000円 |
|               | そ の 他   | 内訳：                                     |      | 円       |
|               |   | 内訳：                                     |      | 円       |
| 内訳：           |   | 円                                       |      |         |
| 合 計           |   |   |      | 25,000円 |

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。



活動記録簿

会派・議員名 たちかわ自民党・安進会

|               |  |   |         |         |
|---------------|--|---|---------|---------|
| 年 月 日         | 令和3年1月26日  |   |         |         |
| 場 所           | データ資料送付  |   |         |         |
| 相 手 方         | 地域科学研究会  |   |         |         |
| 参加者氏名         | 江口元気   |   |         |         |
| 目的・内容<br>結果   | <p>データ送付にて開催された地域科学研究会主催セミナー「ポストコロナ時代の図書館サービスの開発」に出席した。今回の講師は、1 講座目がアカデミック・リソース・ガイド株式会社社長の岡本真氏、2 講座目が公益社団法人日本図書館協会の西河内靖泰氏、3 講座目が専修大学文学部ジャーナリズム学科教授の植村八潮氏、4 講座目が佐倉市資産管理経営室技師の榊田大輔氏。一番印象に残ったのは、3 講座目の植村氏の講義。デジタルで活字を読む層と、紙で書籍を読む層、あるいはその両方で読む層に分かれている時代であることから、電子図書館の導入、既存との組み合わせが有効ということを学んだ。</p> |   |         |         |
| 活動に要した<br>経 費 | 科 目<br>(該当科目に○を<br>付けてください)  | 調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費 |         |         |
|               | 交 行 先  | 利用交通機関                                  | 利用区間    | 金 額     |
|               | 通  |   |         |         |
|               | 費  |   |         |         |
|               | 参加費<br>(会費・負担金等)   | 内訳：受講料                                  |         | 25,000円 |
|               | そ の 他  | 内訳：振込手数料                                |         | 220円    |
|               |  | 内訳：                                     |         | 円       |
| 内訳：           |  | 円                                       |         |         |
| 合 計           |  |   | 25,220円 |         |

- ※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。
- ※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。





議員・職員のための

# 障がい福祉の動向と これから地方自治体に 必要な取り組みを考える 1月25日(月)in 東京

オンラインによる  
セミナーも  
受講出来ます。

## 【基礎編】<sup>1/25(月)</sup>10:00～13:00

1. 近年の障がい福祉施策の動向 (その1)
  - (1) 障害者権利条約批准へのあゆみ
  - (2) 障害者基本法の改正
  - (3) 障害者差別解消法の成立と展開
2. 近年の障がい福祉施策の動向 (その2)
  - (1) 障害者総合支援法の改正と展開
  - (2) 第6期障害福祉計画、  
第2期障害児福祉計画の策定に向けて

## 【応用編】<sup>1/25(月)</sup>14:00～17:00

1. 障がい児支援の課題と展開
  - (1) 障がい児支援サービスの現状と課題
  - (2) 障がい児、医療的ケア児に対する保健、  
医療、教育、福祉の連携をめぐって
2. 障がい者の高齢化の現状と課題
  - (1) 介護保険制度と障害福祉制度との関係
  - (2) 共生型サービスの今後の展開
  - (3) 「親亡き後」の対策と地域生活支援拠点
3. 相談支援体制の課題と展開
  - (1) 相談支援事業の現状
  - (2) 基幹相談支援センターの役割と課題
  - (3) 相談支援にかかわる専門性と人材育成

### 講師：小澤 温【筑波大学教授】

東京大学大学院・医学系研究科・博士課程修了。その後、大阪市立大学・生活科学部・助教授、東洋大学社会学部およびライフデザイン学部・教授を経て、2011年より、筑波大学・人間系・教授。専門は、障害福祉学（特に、障がい児、知的障がい、精神障がい）。著書に「そうだったのか！仕組みがわかる・使える 障害者福祉」第一法規出版、「事例で学ぶ 障がいのある人の意思決定支援」現代人文社、「障害者福祉の世界」（第5版）有斐閣、「よくわかる障害者福祉」（第6版）ミネルヴァ書房、「概説 障害者権利条約」法律文化社など多数。



# ポストコロナ時代の図書館サービスの開発

| 参加費(名別) | 当日参加    | メディア参加  |
|---------|---------|---------|
| 議員・行政   | 25,000円 | 25,000円 |
| 一般      | 35,000円 | 35,000円 |

～実空間と情報空間の融合—豊かな公共空間・図書館をつくる～

※メディア参加には、武者元子氏(仙台市民図書館長)のご講演は収録されません。

|       |   |                                    |
|-------|---|------------------------------------|
| 10:00 | 1. Withコロナの図書館経営<br>—グレート・リセットの可能性と「図書館」(仮称)のリ・デザイン   | アカデミック・リソース・ガイド編<br>代表取締役          |
| 11:10 | 1. With/Afterコロナで転換期に入る「図書館×まちづくり」<br>2. 実空間・情報空間の融合<br>3. 産官学民による共創<br>4. 「図書館」(仮称)のリ・デザイン   | 岡本 真 氏<br>【質疑応答】                   |
| 11:20 | 2. 図書館における個人情報の取り扱いについて   | 公益社団法人日本図書館協会<br>図書館の自由委員会委員長      |
| 12:30 | 1. 図書館コロナ対策ガイドラインで何が問題となったのか<br>2. 図書館の「利用者情報」は「何のため」「誰のため」のものか<br>3. 「図書館の自由」の原則と「個人情報保護」<br>4. 日本図書館協会の「プライバシー保護ガイドライン」                                   | 西河内 靖彦 氏<br>【質疑応答】                 |
| 13:30 | 3. コロナ禍と電子書籍・電子図書館—その動向と今後  | 専修大学文学部<br>ジャーナリズム学科教授             |
| 14:40 | 1. 出版・電子書籍市場の動向 図書館を取り巻く環境変化/出版産業の構造変化/電子書籍市場の現在<br>2. 「知的財産推進計画2020」にみる出版と図書館 著作権法の改正検討/アフターコロナに向けた論点の整理<br>3. 電子図書館・電子書籍貸出サービス調査 公共図書館調査/大学図書館調査/米国の電子図書館 | 植村 八潮 氏<br>【質疑応答】                  |
|       | 4. (自治体事例) 事業継続への図書館の取組み  |                                    |
| 14:50 | (1) 屋外公共空間を活用した新たな図書館サービス<br>～社会実験「公共空間×移動図書館×豊かな日常」の取組み～   | 佐倉市資産管理経営室技師<br>楢田 大輔 氏            |
| 15:50 | 1. 佐倉市の概況<br>2. 新しい図書館建設とまちづくり<br>3. コロナウイルス禍における公共施設の在り方<br>4. 社会実験「公共空間×移動図書館×豊かな日常」<br>5. 社会実験から見えてきた課題と展望   | 【質疑応答】                             |
| 16:00 | (2) 災害時の図書館における事業継続への取組み<br>～東日本大震災の経験から～   | 仙台市民図書館長<br>武者 元子 氏<br>【オンラインでの講演】 |
| 17:00 | 1. 仙台市図書館の概況<br>2. 東日本大震災と仙台市図書館<br>3. 地域防災計画、業務継続計画と図書館<br>4. コロナ禍における図書館の取組み<br>5. 平常時の図書館、非常時の図書館  | 【質疑応答】                             |

# 狭あい道路拡幅整備事業の推進とまちづくり

| 参加費(名別) | 当日参加    | メディア参加  |
|---------|---------|---------|
| 議員・行政   | 20,000円 | 22,000円 |
| 一般      | 28,000円 | 30,000円 |

～自治体の先駆的実践事例にみる多様な事業手法と推進実務～

|       |  |                             |
|-------|--|-----------------------------|
| 13:00 | 1. 狭あい道路整備と建替えルールを活用したまちづくり<br>～自治体の実践事例の紹介～   | 国土首都圏総合計画研究所代表取締役<br>井上 隆 氏 |
| 15:00 | 1. 建築基準法の道路種別と狭あい道路<br>2. 狭あい道路に面する住宅戸数の実態と動向<br>3. なぜ後退しないのか、何が課題か<br>4. 行政における課題(行政のスキマの問題)<br>5. 特定行政庁(建築部門)の課題<br>6. 指定道路台帳整備の目指す方向<br>7. 狭あい道路の拡幅整備事業の事例<br>8. 規制・誘導手法及び事業手法活用の試み<br>9. 狭あい道路が多い市街地での多様な取組み手法 | 【質疑応答】                      |
| 15:10 | 2. (杉並区) 改正狭あい道路拡幅整備条例の施行—ねらいと効果、今後の取組み  | 杉並区都市整備部狭あい道路整備課<br>狭あい道路係  |
| 16:30 | 1. これまでの狭あい道路の取組みと条例改正<br>(1) 平成元(1989)年からの取組みと課題<br>(2) 課題を踏まえた条例改正<br>2. 条例改正の効果<br>(1) 支障物件禁止の効果 (2) 重点整備路線の指定<br>3. 課題と今後の取組み<br>(1) 区民への周知活動<br>(2) 未整備箇所への働きかけ   | 大塚 直人 氏<br>【質疑応答】           |

活動記録簿

会派・議員名 たちかわ自民党・安進会

|               |  |   |      |         |
|---------------|--|---|------|---------|
| 年 月 日         | 令和3年1月26日  |   |      |         |
| 場 所           | データ資料送付  |   |      |         |
| 相 手 方         | 地方議員研究会  |   |      |         |
| 参加者氏名         | 江口元気   |   |      |         |
| 目的・内容<br>結果 等 | <p>データ送付にて開催された地方議員研究会主催セミナー「“withコロナ”で試される地方議会議員への特別講座」を受講した。今回の講師は、元廿日市市副市長の川本達志氏。前半は、withコロナと自治体財政、後半はwithコロナの議会と執行部の関係についての講義である。</p> <p>コロナ禍にあつて、議会の役割は重要になってきている。市長は選挙が終わって市長室に入った瞬間から、組織のトップとして、組織の利益を考えることが必要だが、議員は違います。予算編成権や執行権、人事権がない代わりに、組織からは一定の距離を置くことができ、市民の側に立った意見を言うことができる。常に市民の近くでニーズを聞き、それを政策に入れていくのも、こうした存在だからできることである。今後の参考にしていく。</p> |   |      |         |
| 活動に要した<br>経 費 | 科 目<br>(該当科目に○を<br>付けてください)  | 調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費 |      |         |
|               | 交 行 先  | 利用交通機関                                  | 利用区間 | 金 額     |
|               | 通  |   |      |         |
|               | 費  |   |      |         |
|               | 参加費<br>(会費・負担金等)   | 内訳：受講料                                  |      | 30,000円 |
|               | そ の 他  | 内訳：振込手数料                                |      | 220円    |
| 内訳：           |  | 円                                       |      |         |
|               |  | 内訳：                                     |      | 円       |
| 合 計           |  |   |      | 30,220円 |

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

活動記録簿

会派・議員名 たちかわ自民党・安進会

|               |  |   |      |         |
|---------------|--|---|------|---------|
| 年 月 日         | 令和3年1月29日  |   |      |         |
| 場 所           | ZOOM   |   |      |         |
| 相 手 方         | 地方議会総合研究所  |   |      |         |
| 参加者氏名         | 江口元気   |   |      |         |
| 目的・内容<br>結果 等 | 地方議会総合研究所主催セミナー「コロナ時代の攻める公共施設マネジメント」にオンラインで参加した。講師はNPO法人日本PFI・PPP協会業務部長の寺澤弘樹氏。午前中は自治体経営と公共施設マネジメントの基礎として、図書館や公園、公民館などの指定管理者制度や制度などについて、午後は全国の実際の様々な事例などを紹介していただいた。費用を抑えるという視点は重要だが、費用対効果、稼ぐという視点も重要である。今後の参考にしていきたい。 |   |      |         |
| 活動に要した<br>経 費 | 科 目<br>(該当科目に○を<br>付けてください)  | 調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費 |      |         |
|               | 交 行 先  | 利用交通機関                                  | 利用区間 | 金 額     |
|               | 通  |   |      |         |
|               | 費  |   |      |         |
|               | 参加費<br>(会費・負担金等)   | 内訳：受講料                                  |      | 25,000円 |
|               | そ の 他  | 内訳：振込手数料                                |      | 220円    |
|               |  | 内訳：                                     |      | 円       |
| 合 計           |  | 内訳：                                     |      | 円       |
| 合 計           |  |   |      | 25,220円 |

※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。

※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

# 領 収 証

たちかわ自民党 安進会 様 2021年1月26日

★ ￥30,000

(1) 「withコロナと自治体財政」  
「withコロナの議会と執行部の関係」  
資料・動画データ代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会  
〒532-0004  
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639  
TEL 06 (7878) 6297

## ご利用明細票

| お取扱目  | 店番      | お取引内容 |
|---|---------|-------|
| 03-01-2600656   |         | カード送金 |
| 記号  |         | 番号    |
| *****   |         |       |
| 取扱番号  | お取引金額   |       |
| N006  | *30,000 |       |
|   | 残高      |       |
| 楽天銀行<br>第二営業支店<br>普通 7520919<br>ジャチホウキ インケンキユウカイ<br><br>送金料金 *220円<br>振込予定日 03-01-26<br>エグチ ケンキ |         |       |

ご利用いただきましてありがとうございました。

## ご利用明細票

| お取扱目   | 店番      | お取引内容 |
|--|---------|-------|
| 03-01-2600656  |         | カード送金 |
| 記号   |         | 番号    |
| *****  |         |       |
| 取扱番号   | お取引金額   |       |
| N011   | *25,000 |       |
|  | 残高      |       |
| みずほ銀行<br>麹町支店<br>普通 1314699<br>カチホウキ カイソウコ ウケンキユウシヨ<br><br>送金料金 *220円<br>振込予定日 03-01-26<br>エグチ ケンキ |         |       |

ご利用いただきましてありがとうございました。

等

## 領収証

たちかわ自民党・安進会 様

金額 ￥25,000

但 1月29日セミナー受講料として  
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011  
東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所

No

2021年1月29日

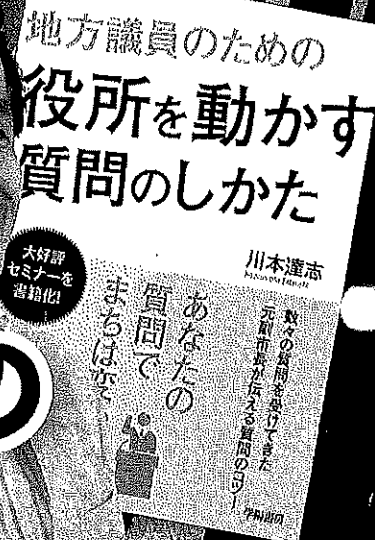
|      |  |
|------|--|
| 内    |  |
| 消費税等 |  |
| 現金   |  |

# 地方議員研究会

延べ5000人以上が受講した  
人気講師の緊急提言

「役所を動かす  
質問のしかた」  
著者が語る!

## “withコロナで 試される 地方議会議員への 特別講座”



開催日  
開催場所

1/30 <sup>土</sup> in 博多

2/3 <sup>水</sup> in 広島

10:00 ~ 12:30  
withコロナと  
自治体財政

- ・財政調整基金の活用例
- ・コロナ対策で自治体はどう動いたか
- ・議会から仕掛ける増額補正の事例
- ・議員の学習度合いや本気度により自治体間格差が広がる

14:00 ~ 16:30  
withコロナの議会と  
執行部の関係

- ・緊急時に議会はどう動いたか
- ・コロナ対策で役所ではこんな動きをしています
- ・議会の権能を再確認してみよう
- ・役所を動かす質問の仕方  
～延べ5000人以上の議員に伝えてきた効果的なポイント～

かわもと たつし  
**川本 達志**  
元・廿日市市副市長

1956年広島県生まれ。九州大学法学部卒。広島県庁において、公務員労務、基礎自治体の行財政指導、契約法務、県財政の健全化計画の策定などに従事。2005年4月に広島県廿日市市に移り、分権政策部長を経て2008年1月副市長就任。市の行政経営システム改革、中期財政運営方針の策定、廿日市市協働によるまちづくり基本条例策定などにあたる。副市長在職中に広島県立大学大学院修了。2011年12月退職。2012年3月から株式会社野村総合研究所 上級コンサルタント。2014年4月に独立。著書に「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」(2017.7 学陽書房)



議員・職員のための

# コロナ時代の攻める 公共施設マネジメント

1月29日(金)

in 京都

オンラインによる  
セミナーも  
受講出来ます。

講師：寺澤 弘樹

【NPO 法人日本PFI・PPP協会業務部長】

東京理科大学大学院理工学研究科建築学修了・流山市役所

（庁後、同市総務部財産活用課ファシリティマネジメント

推進室長を経て、現職。また、姫路市PPP/PFIに関

するアドバイザーや富山市PPP事業手法検討委員会委員

等多数の委員を務める。第7回日本ファシリティマネジメ

ント大賞奨励賞受賞。主な著書・論文として「先進事例か

ら学ぶ 成功する公共施設マネジメント」（共著）、「ここ

までできる実践公共ファシリティマネジメント」（共著）、

「PPPによるFMの実践と庁舎の有効活用」等多数。



1/29(金) 10:00～13:00

自治体経営と  
公共施設マネジメントの基礎

1. 行政の経営感覚
2. 地方自治法との関係
3. 公共施設等を取り巻く環境
4. 教科書型行政の限界と思考停止
5. 発想の転換
6. 指定管理者制度の可能性
7. 小さな取組の必要性

1/29(金) 14:00～17:00

生き残るために  
自治体がすべきこと・できること

1. PPP/PFI 事例
2. 行政と民間の立ち位置の変化
3. リアルな生き方
4. 生きる手段としての PPP/PFI
5. ユルクトンガル
6. コロナと自治体経営
7. アカルイミライ

活動記録簿

会派・議員名 たちかわ自民党・安進会

|               |  |   |      |         |
|---------------|--|---|------|---------|
| 年 月 日         | 令和3年2月15日  |   |      |         |
| 場 所           | データ資料送付  |   |      |         |
| 相 手 方         | 地方議員研究会  |   |      |         |
| 参加者氏名         | 江口元気   |   |      |         |
| 目的・内容<br>結果 等 | <p>地方議員研究会主催セミナーを音声データと資料にて受講。今回のテーマは、「決算カードでわかる我が街の財政研修」で、講師は立命館大学政策科学部教授の森裕之氏。</p> <p>1 講義目は「コロナと収入」、2 講義目は「コロナと支出」、3 講義目は「財政収支」、4 講義目は「財政指標」だった。国と地方の予算の体系や自治体の収支、基金・積立金・繰り出し金などの考え方、各市の事例、補助金と地方債の仕組み、健全化財政比率などの各種指標などを体系的に学んだ。毎年、予算前には財政関連の勉強をしているが、改めて基礎から財政を学びなおした。今後に生かしていきたい。</p> |   |      |         |
| 活動に要した<br>経 費 | 科 目<br>(該当科目に○を<br>付けてください)  | 調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費 |      |         |
|               | 交 行 先  | 利用交通機関                                  | 利用区間 | 金 額     |
|               | 通  |   |      |         |
|               | 費  |   |      |         |
|               | 参加費<br>(会費・負担金等)   | 内訳：受講料                                  |      | 60,000円 |
|               | そ の 他  | 内訳：振込手数料                                |      | 440円    |
|               |  | 内訳：                                     |      | 円       |
| 合 計           |  |   |      | 60,440円 |

- ※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。
- ※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。



活動記録簿

会派・議員名 たちかわ自民党・安進会

|               |   |   |      |         |
|---------------|---|---|------|---------|
| 年 月 日         | 令和3年3月12日   |   |      |         |
| 場 所           | データ資料送付   |   |      |         |
| 相 手 方         | 地方議員研究会   |   |      |         |
| 参加者氏名         | 江口元気  |   |      |         |
| 目的・内容<br>結果   | 地方議員研究会主催セミナー「withコロナ特別講座」に参加した。データ送付による参加である。今回の講師は元寝屋川市議会議長の宮本正一氏。1講座目はコロナと健康政策、2講座目はコロナと持続可能な財政、3講座目はコロナと教育問題、4講座目はコロナと市内経済対策であった。コロナに関わらず、現在話題となっていることを網羅した内容であった。デジタル化対応や双方向オンライン型授業など先進的な施策を既にやっている自治体もある。今後、少しでも立川市に取り入れられるよう努力していきたい。 |   |      |         |
| 活動に要した<br>経 費 | 科 目<br>(該当科目に○を<br>付けてください)   | 調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費 |      |         |
|               | 交 行 先   | 利用交通機関                                  | 利用区間 | 金 額     |
|               | 通   |   |      |         |
|               | 費   |   |      |         |
|               | 参加費<br>(会費・負担金等)  | 内訳：受講料                                  |      | 60,000円 |
|               | そ の 他   | 内訳：振込手数料                                |      | 440円    |
|               |   | 内訳：                                     |      | 円       |
| 合 計           |   |   |      | 60,440円 |

- ※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。
- ※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

# 領 収 証

たちかわ自民党・安進会 様 2021年2月15日

★ ￥60,000

但「決算カードでわかる我が街の財政研修」  
4講座 資料・音声データ代として

上記正に領収いたしました



地方議員研究会  
〒532-0004  
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639  
TEL 06 (7878) 6297

## ご利用明細票

| お取扱日  | 店番      | お取引内容 |
|---|---------|-------|
| 03-02-1001056                                     |         | カード送金 |
| 記号  | 番号      |       |
| *****   |         |       |
| 取扱番号  | お取引金額   |       |
| N031  | *60,000 |       |
|   | 残高      |       |
| 楽天銀行<br>第二営業支店<br>普通 7520919<br>シヤ)チホウキ インケンキユウカイ |         |       |
| 送金料金 *440円<br>振込予定日 03-02-10<br>エグチケンキ            |         |       |

ご利用いただきましてありがとうございました。  
ゆうちょ銀行

## ご利用明細票

| お取扱日  | 店番      | お取引内容 |
|---|---------|-------|
| 03-02-1201056                                     |         | カード送金 |
| 記号  | 番号      |       |
| *****   |         |       |
| 取扱番号  | お取引金額   |       |
| N015  | *60,000 |       |
|   | 残高      |       |
| 楽天銀行<br>第二営業支店<br>普通 7520919<br>シヤ)チホウキ インケンキユウカイ |         |       |
| 送金料金 *440円<br>振込予定日 03-02-12<br>エグチケンキ            |         |       |

ご利用いただきましてありがとうございました。  
ゆうちょ銀行

# 領 収 証

たちかわ自民党・安進会 様 2021年3月12日

★ ￥60,000

但「withコロナ特別講座」  
4講座 資料・動画データ代として

上記正に領収いたしました



地方議員研究会  
〒532-0004  
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639  
TEL 06 (7878) 6297

# 地方議員研究会

アフターコロナを踏まえた  
予算議会直前財政研修

参加自治体  
それぞれの  
決算カードを  
配布、解説

## 決算カードでわかる 我が街の財政研修

～決算カードを4つに分けて解説

10:00~12:30

### 決算カード1「コロナと収入」

- コロナと自治体財政
- 補正予算と令和3年度の国の予算をおさえる
- 地方交付税と臨時財政対策債の解説
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金とは
- 自治体の収入を家計に置き換えて説明
- 補助金と地方債の仕組み

14:00~16:30

### 決算カード2「コロナと支出」

- 国の令和3年度予算の支出重点項目の説明
- 類似団体との比較で自分の街の財政がわかる
- 最新版を解説 PFIのおえ方
- 休業協力金と各自治体の財政力の関係性
- コロナで要注意、基金・積立金・繰出金
- 自分の街の支出を決算カードで確認、議会での質疑例

10:00~12:30

### 決算カード3「財政収支」

- 自治体の収支を家計で考える
- 赤字と黒字のキャラクター、実質単年度収支の見方
- 基金残高の要因分析
- 世界一わかりやすいイメージ図で解説
- 事例からみる財政～新潟市、浜松市、交野市
- アフターコロナの財政収支を考える

14:00~16:30

### 決算カード4「財政指標」

- 財政力指数を家計に置き換えて説明
- 健全化判断比率ではわからない自治体財政の姿
- 地方創生における自治体SDGsの推進
- 経常収支比率も家計に置き換えて説明
- 新地方公会計と資産老朽化比率
- コロナ対策のための財政運営

2/8

(月曜日)

2/15

(月曜日)

in博多

in大阪

2/9

(火曜日)

2/16

(火曜日)

in博多

in大阪

#### 講師紹介

もり ひるゆき  
森 裕之

立命館大学政策科学部教授、  
博士(政策科学)

#### 略歴

1967年大阪府生まれ。大阪市立大学商学部、同大学院経営学研究所後期博士課程中退後、高知大学助手。その後、高知大学専任講師、大阪教育大学専任講師・助教授を経て、2003年から立命館大学政策科学部助教授。2009年より同教授。財政学とくに地方財政と公共事業を専攻。また、社会的災害(アスベスト問題など)についても公共政策論としての立場から考察。

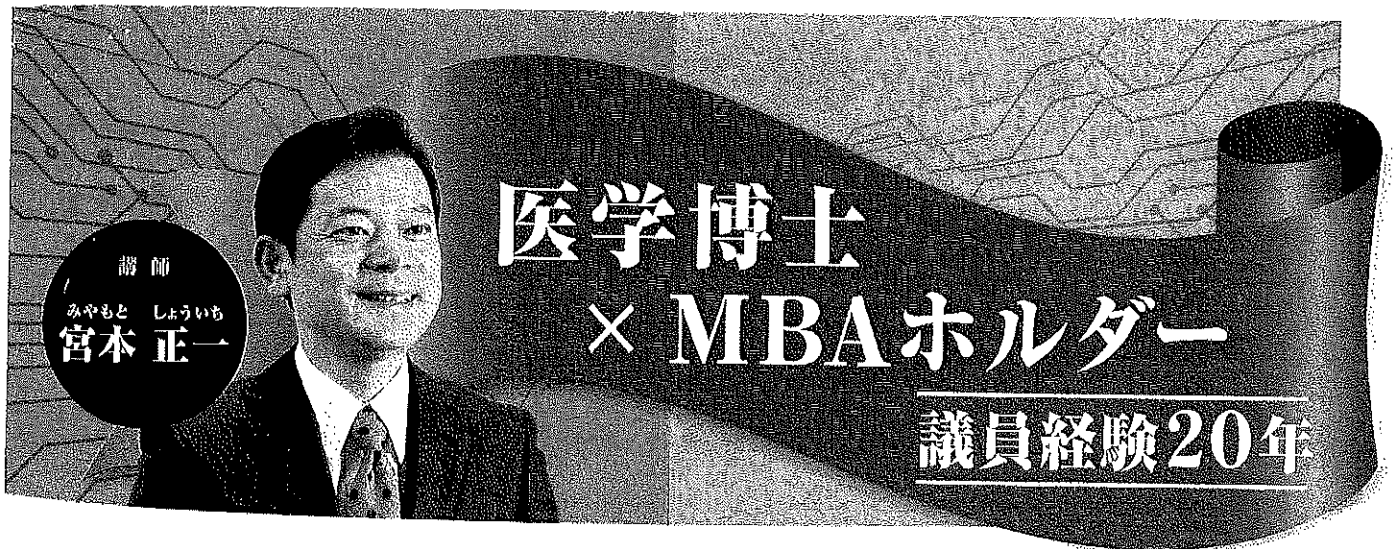
#### 著書 共著

『公共事業改革論』(有斐閣、2008年)  
『検証・地域主権改革と地方財政』(自治体研究社、2010年)、  
『地域共創と政策科学』(晃洋書房、2011年)

#### 論文・ 研究発表

『国土強靱化』の財政と地域政策(2013年) 社会資本の老朽化問題(2012年)  
公共事業と一括交付金(2012年)等





講師  
みやもと しょういち  
宮本 正一

# 医学博士 × MBAホルダー

議員経験20年

## withコロナ特別講座

3月12日  
(金)  
in博多

10:00~12:30

### コロナと健康政策

- ・新型コロナウイルスの基礎知識
- ・PCRと陽性者数とは
- ・公衆衛生博士が教える自治体の公衆衛生政策
- ・認知症対策とコロナ対策

3月19日  
(金)  
in大阪

14:00~16:30

### コロナと持続可能な財政

- ・財政調整基金をどのように活用するか
- ・財源によって異なる自治体財政
- ・国から流れる交付金の仕組み
- ・役所と協会の財政政策適合ケーススタディ
- ・あなたの市の決算カードを見ながら財源を把握してみよう  
(参加者自身の決算カードを特別扱いなしで可)

3月13日  
(土)  
in博多

10:00~12:30

### コロナと教育問題

- ・最新の被害者は誰か
- ・文部科学省からの通知を徹底してみよう
- ・アフターコロナ時代の学校教育とは
- ・オンライン学習の仕組みと活用事例から

3月20日  
(土)  
in大阪

14:00~16:30

### コロナと市内経済対策

- ・MBAホルダーが教える経済基礎
- ・貴方は地域の事業者の世を聞いているか
- ・効果の出る経済対策とは？前自20年の経験から
- ・福祉政策の新たな役割

#### 講師ご紹介

みやもと しょういち  
宮本 正一

1967年生まれ ポストンウェントワース工科大学を卒業後、神戸大学経営大学院でMBA(経営学修士)、大阪市立大学大学院医学研究科で医学博士号(公衆衛生学)を取得。現在、日本公共経営研究所代表。

#### 政治略歴

平成7年に27歳で市会議員に無所属で初当選し、その後6期20年の議員在任中、第54代寝屋川市議会議長及び大阪府知事選挙をはじめ11の選挙対策本部で事務局長を務める。

#### 主な著書

「サービス産業経営論(第7章自治体の経営)」他



活動記録簿

会派・議員名 たちかわ自民党・安進会

|               |  |   |         |         |
|---------------|--|---|---------|---------|
| 年 月 日         | 令和3年3月29日  |   |         |         |
| 場 所           | ZOOM   |   |         |         |
| 相 手 方         | 地方議会総合研究所  |   |         |         |
| 参加者氏名         | 江口元気   |   |         |         |
| 目的・内容<br>結果 等 | <p>地方議会総合研究所主催セミナー「上下水道事業の課題と処方箋」に出席した。今回の講師は中京大学経済学部准教授の齊藤由里恵氏で、オンラインでの受講。午前中が上下水道事業の現状と課題、午後が持続可能な上下水道事業への取り組みをテーマにお話しをいただいた。<br/>老朽化対応、適切な使用料設定、繰入金に頼らない経営など課題山積の上下水道事業だが、政府の方針や水道法改正、広域化・共同化やコンセッション方式による官民連携など全国の様々な事例を学んだ。立川市も下水道の管路の更新が大きな課題となっている。今後に生かしていきたい。</p> |   |         |         |
| 活動に要した<br>経 費 | 科 目<br>(該当科目に○を<br>付けてください)  | 調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請・陳情活動費・会議費 |         |         |
|               | 交 行 先  | 利用交通機関                                  | 利用区間    | 金 額     |
|               | 通  |   |         |         |
|               | 費  |   |         |         |
|               | 参加費<br>(会費・負担金等)   | 内訳：受講料                                  |         | 25,000円 |
|               | そ の 他  | 内訳：振込手数料                                |         | 220円    |
|               |  | 内訳：                                     |         | 円       |
| 内訳：           |  | 円                                       |         |         |
| 合 計           |  |   | 25,220円 |         |

- ※ 調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費に係る活動を記録してください。
- ※ 宿泊を伴う出張については、この様式を使わず、「出張届出書」及び「出張報告書」を提出してください。

# 領収証

No. \_\_\_\_\_

たちかわ自民党・安進会 様

2021年3月29日

金額 **¥25,000**

|      |  |
|------|--|
| 内    |  |
| 消費税等 |  |
| 現金   |  |
|      |  |
|      |  |

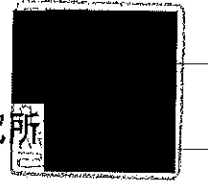
但 3月29日セミナー受講料として  
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所



## ご利用明細票

|   |          |       |
|---|----------|-------|
| お取扱目  | 店番       | お取引内容 |
| 03-03-2301056   |          | カート送金 |
| 記号  | 番号       |       |
| *****   |          |       |
| 取扱番号  | お取引金額    |       |
| N230  | *25,000  |       |
|   | 残高       |       |
|   |          |       |
| みずほ銀行<br>麹町支店<br>普通 1314699<br>カ)チホウキ カイソウコ ウケンキユウシ 日 |          |       |
| 送金料金  | *220円    |       |
| 振込予定日   | 03-03-23 |       |
| エグチ ケンキ   |          |       |

ご利用いただきましてありがとうございました。  
ゆうちょ銀行

# 貼付欄

議員・職員のための

# 上下水道事業の 課題と処方箋

3月29日(月)

in 京都

オンラインによる  
セミナーも  
受講出来ます。

◇ 10:00 ~ 13:00

## 上下水道事業の現状と課題

1. 水道事業とは
2. 水道事業の経営状況
3. 人口減少時代の水道事業
4. 下水道事業とは
5. 下水道事業の経営状況
6. 下水道事業における地方財政措置
7. 上下水道事業経営とガバナンス

◇ 14:00 ~ 17:00

## 持続可能な 上下水道事業への取り組み

1. 上下水道事業の現状と課題
2. 水道法の改正
3. 課題解決の方向性
4. 広域化の状況
5. 官民連携の手法
6. 海外における水ビジネス



講師 齊藤 由里恵  
(中京大学経済学部准教授)

専門は、公共経済学、財政学、地方財政論。総務省個人住民税検討会委員、総務省下水道財政のあり方に関する研究会構成員、愛知県指定管理者等選定委員会委員、北九州市地方港湾審議会委員等。公共施設・インフラ（上下水道）の老朽化への対応、あり方について研究。

(株)地方議会総合研究所